



週間情報



No.2809

発行日 平成28年3月1日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 電話 03(3234)1321

両会の動き

◆ 消防実務講習会（警防）を開催

一般財団法人全国消防協会近畿地区支部

一般財団法人全国消防協会近畿地区支部では、平成28年2月22日（月）及び23日（火）、大阪府大阪市（大阪市消防局7階講堂）において、消防職員の知識及び能力の向上を目的に消防実務講習会を開催しました。

「怪我防止のためのアクセル&ブレーキコントロール」と題し、株式会社タフ・ジャパン代表取締役、鎌田修広氏（元横浜市消防局、消防訓練センター教育課に勤務し、神奈川県消防学校、総務省消防庁、消防大学校等において消防体育教官・講師を務める。消防局退職後、タフ・ジャパンを設立）を講師に迎え、警防業務に従事する職員を中心に、地区支部内52の消防本部から各日約150人が集まり、延べ約300人が参加し講義が行われました。

講義は、消防活動等のパフォーマンスにメンタルが与える影響を学ぶとともに、自己管理能力の向上について、ストレッチング、消防筋肉の刺激方法等の実技指導を受け、最後には、ラグビーニュージーランド代表（オールブラックス）で有名なハカを参加者全員で踊り、締めくくりとなりました。



【講習会の様子】

消防本部の動き

行事

◆ 高松市民防災教室を開催

高松市消防局（香川）

高松市消防局では、平成28年1月22日（金）、高松市民防災センターにおいて、住宅防火対策推進協議会（事務局：（一財）日本防火・危機管理促進協会）と共催で「高松市民防災教室」を開催しました。

当教室には、地元の市立多肥小学校3年生や高松市女性防火クラブ連絡協議会、太田地区自主防災組織の方々が参加し、タレントのダニエル・カールさんと消防職員による寸劇を活用した住宅防火・防災クイズなどを通して住宅防火防災への意識高揚を図りました。

このイベントは、地元ケーブルテレビ局（ケーブルメディア四国）が収録し、春の全国火災予防運動期間中に放映が予定されています。



【市民防災教室の様子】

◆ 地元中学生による消火栓除雪及び緊急離着場雪踏みボランティアを実施

札幌市消防局（北海道）

札幌市消防局では、平成28年1月30日（土）、厚別区において、札幌市立厚別中学校の生徒と地域住民約200名が参加して、消火栓除雪及び緊急離着場雪踏みボランティアを実施しました。

この日は、管内の消火栓116基が対象で、冬期間雪に埋もれてしまう消火栓を災害時すぐに使用できるよう、消火栓周りの除雪を行いました。特に大雪時は、消防職員・消防団員だけでは消火栓の除雪に手が回らないことから、地域住民の協力が欠かせません。

また、消火栓除雪後には、緊急離着場に指定されている同校のグラウンドの雪踏みを行い、雪上にカラスプレーで「H」の文字を書き込みました。

今後も、地元中学生を始めとする地域住民の協力の下、「安全・安心を誇れる街さっぽろ」の構築に努めてまいります。



【消火栓除雪の様子】



【緊急離着場での集合写真】

◆ 「火災をブロック！」火の用心バレーボール大会を開催

柳川市消防本部（福岡）

柳川市消防本部では、平成28年2月7日（日）、柳川市民体育館において、毎年恒例の「柳川消防・火の用心バレーボール大会」を開催しました。

この大会は、地域住民の防火思想普及と参加者等の親睦を目的として行われ、今年は総勢50チーム、来賓、選手、役員等総勢326名が参加し、熱戦を繰り広げました。

大会開会式では、防火にちなんだ手作りプラカードの表彰を行うとともに、消防職員による住宅用火災警報器の必要性及び維持管理などの防火講話を行いました。



【大会の様子】



【プラカード賞表彰式の様子】

訓練・演習

◆ 文化財防火デーに伴う消防訓練を実施

豊中市消防局（大阪）

豊中市消防局では、文化財防火デーを前に平成28年1月21日（木）、日本民家集落博物館において、当市消防局北消防署による消防訓練を実施しました。

同館には、国や大阪府の指定文化財となっている民家が全国から移築・復元されており、消防署員や消防団員、同館職員ら約30人が初期消火や放水などの訓練に取り組みました。

文化財を火災や震災から守るため、所有者など関係者の防火・防災の意識を向上させることを目的として、毎年この時期に文化財を備えた建物などを対象に消防訓練を行うほか、立入検査や初期消火の指導を行っています。



【放水訓練の様子】



【初期消火訓練指導の様子】

◆ 救急小隊訓練発表会を開催

恵那市消防本部では、平成28年1月26日（火）及び27日（水）、恵那市防災センターにおいて、平成27年度救急小隊訓練発表会を開催しました。

発表会では、各署所より両日各5隊の救急隊及び支援隊が出場し、隊員は、胸痛、外傷、低血糖、脳卒中などの様々な訓練想定に対して、各疾患に応じた観察・処置を実施し、日頃の訓練の成果を発表しました。

発表は、各種観察・手技、隊員の連携、プロトコール遵守、インフォームドコンセント要領などについて指導救命士等により評価され、全隊にフィードバックされました。

恵那市消防本部（岐阜）



【訓練発表会の様子】

◆ 警察と合同でNBC災害対応訓練を実施

磐田市消防本部では、平成28年2月1日（月）、市内市有地において、磐田警察署と合同でNBC災害対応訓練を実施しました。

この訓練は、タンクローリーが普通乗用車と衝突し、搬送中の劇物が漏洩したとの想定で、車両11台、54名が参加しました。

化学防護服を着装して要救助者を救出・搬送、除染シャワーによる水的除染を行うとともに、警察車両による広報活動などケミカル災害に対する対応を確認しました。

訓練終了後には検証会を実施し、連携の取れた活動、情報の共有化について意見交換を行い、相互認識を深めることができました。

磐田市消防本部（静岡）



【要救助者を担架へ収容の様子】

◆ 平成27年度東播地区消防本部NBC災害対策合同訓練を実施

加古川市消防本部では、平成28年2月5日（金）、JR加古川駅コンコース内及び北側広場において、NBC災害対策合同訓練を実施しました。

訓練には、東播地区7消防本部、兵庫県警察本部機動隊、加古川警察署、兵庫県立加古川医療センター、加古川西市民病院から175名が参加し、ブラインド型の実践的な訓練により、連携の強化及び災害対応能力の向上を図りました。また、駅及びその周辺を使用した訓練は、多くの利用者から注目を集め、地域住民の消防活動への理解と信頼を深めることができました。

今後もより効果的な訓練を重ねていくことで地域住民の負託に応えていきたいと考えています。

加古川市消防本部（兵庫）



【訓練の様子】

◆ 国際消防救助隊千葉県連携訓練を実施

千葉市消防局（千葉）

千葉市消防局では、平成28年2月9日（火）及び10日（水）、千葉市消防学校において、千葉県内の国際消防救助隊登録7本部（市川市、船橋市、松戸市、柏市、佐倉市八街市酒々井町、市原市、千葉市）から計44名が集まり国際消防救助隊千葉県連携訓練を実施しました。

今回の訓練は、ショアリング、ブリーチングの基礎訓練及び基本技術を用いた応用訓練（想定訓練）を実施しました。訓練を通じて隊員の能力向上だけでなく、各本部の隊員の連携強化を図ることができました。

今後も連携訓練を継続し、技術向上に努めていきます。



【ショアリング訓練の様子】



【ブリーチング訓練の様子】

研修等

◆ 危険物安全管理実務講習会を開催

朝霞地区一部事務組合埼玉県南西部消防本部（埼玉）

朝霞地区一部事務組合埼玉県南西部消防本部では、平成28年1月15日（金）、管内の危険物施設関係者を対象に危険物安全管理実務講習会を開催しました。

危険物の保安意識の高揚及び啓発を図り、危険物の火災や流出事故を防ぐことを目的に、毎年度開催しています。今回は、総務省消防庁危険物保安室から清水崇一氏を講師に招き、「危険物事故を防ぐには」と題して講演していただきました。

当日は、38事業所46人が受講し、「法令だけではなく、ヒューマンエラーやリスクアセスメントなどについての話もあり、大変分かりやすかった。」「危険物事故を防ぐために、人材育成や技術の伝承が大事であることが分かりました。」と大変好評でした。



【講習会の様子】

◆ 消防職員健康管理講演会を開催

宝塚市消防本部（兵庫）

宝塚市消防本部では、平成28年1月28日（木）、消防職員健康管理講演会を開催しました。今回は、地方公務員災害補償基金の協力のもと株式会社フィスメックの千葉征慶氏を講師に招き、「メンタルヘルス～ストレスと上手くつき合う～」を講義テーマとして実施しました。良好な職場環境の確保及び適切な現場活動を行ううえで、各種ストレス対策は必須課題であります。ストレスに関する基本的な知識を学ぶとともに、ストレスへの対処能力を身につける重要性についても再認識することができました。



【講演会の様子】

◆ 水素ステーションで消防職員向け講習会を実施

泉州南消防組合泉州南広域消防本部（大阪）

泉州南消防組合泉佐野消防署空港分署では、平成28年2月8日（月）及び9日（火）、管内である関西国際空港島内に新たにオープンした「イワタニ水素ステーション関西国際空港」において、岩谷産業株式会社と新関西国際空港株式会社の協力のもと、消防職員向けの講習会を実施し、約70名が参加しました。

「水素ガスの安全な取扱いについて」と題した座学講習を受講した後、現地において水素ステーションの各種高圧ガス設備の構造や水素供給の仕組みを学び、最後にトヨタミライ（燃料電池自動車）の実車を用いて、基本構造や災害時の対応方法を学びました。

これから様々な分野での広がりが予想される水素エネルギーですが、水素ステーションやトヨタミライを初めて見る職員も多く、専門家によるこれらの講習を受講することで、水素ガスの漏洩事故、燃料電池自動車の火災、レスキュー時の対応等、実際の現場活動における対応能力の向上を図ることができ、大変有意義なものとなりました。



【講習会の様子】

その他

◆ 救急救護活動功労に対する消防総監感謝状の伝達等を実施

東京消防庁（東京）

東京消防庁葛西消防署では、平成28年2月5日（金）、救急救護活動功労者4名に対し消防総監感謝状並びに消防署長感謝状の伝達等を行いました。

これは、1月17日（日）、江戸川区内の第六小学校体育館において、バトミントンの練習中に意識を消失した男性を一緒に練習していた仲間が連携して呼びかけによる反応や呼吸の確認といった一連の行動を行ったあと、心臓マッサージやAEDを実施したところ、倒れた男性が搬送中の救急車両内で意識を回復したものです。

感謝状を受取った方々からは、「突然のことで驚きましたが、以前受講した普通救命講習の知識と技術が役に立って良かったです。仲間と協力して命を救うことができました。自分の家族や職場にも救命講習の受講を勧めてみたいと思います。」という心強い感想が聞けました。



【感謝状伝達式の様子】

◆ 消防本部の住所変更等について

○ 31505 土浦市消防本部

新住所 〒300-0049 土浦市田中町2083番地1

※ 理由 庁舎移転のため

平成28年2月25日から運用開始

○ 42505 伊勢市消防本部

新住所 〒516-0014 伊勢市楠部町159番地11

※ 理由 庁舎移転のため

平成28年2月29日から運用開始

○ 73907 岩国地区消防組合消防本部

新住所 〒740-0037 岩国市愛宕町一丁目4番1号

新電話番号 0827-31-0119

新FAX番号 0827-32-1119

※ 理由 庁舎移転のため

平成28年3月1日から運用開始

○ 84315 嶺北広域行政事務組合消防本部

新メールアドレス reihoku119@reihoku-k.jp

※ 理由 代表メールアドレスの変更のため

平成28年3月1日から運用開始

国等の動き

通 知 等

- ◆ **日産自動車株式会社「パラメディック等」のリコール届出について（2月18日、事務連絡）**
救急企画室より、各都道府県消防防災主管部(局)あてに次のとおり事務連絡されましたのでお知らせします。

標記について、別添（省略）のとおり日産自動車株式会社から緊急用自動車のリコール届出に関する報告がありましたので、お知らせします。

つきましては、内容を確認のうえ、速やかに適切な対応が図られるよう貴都道府県内市町村（消防の事務を処理する組合を含む。）に対して、この旨を周知されますようお願いいたします。（以下省略）

- 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/concern/law/tuchi2802/pdf/280218_jimurenaku.pdf) に掲載されています。

【問い合わせ先】

救急企画室 救急推進係

担当：新田係長、濱砂事務官、山口事務官

- ◆ **必要とされる防火安全性能を有する消防の用に供する設備等に関する省令第1条第2項の規定に基づくパッケージ型消火設備の設置及び維持に関する技術上の基準の一部を改正する件等の運用上の留意事項について（2月23日、消防予第48号）**

予防課長より、各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに次のとおり通知されましたのでお知らせします。

「必要とされる防火安全性能を有する消防の用に供する設備等に関する省令第1条第2項の規定に基づくパッケージ型消火設備の設置及び維持に関する技術上の基準の一部を改正する件」（平成28年消防庁告示第2号）及び「必要とされる防火安全性能を有する消防の用に供する設備等に関する省令第2条第2項の規定に基づくパッケージ型自動消火設備の設置及び維持に関する技術上の基準の一部を改正する件」（平成28年消防庁告示第3号）の公布については、「必要とされる防火安全性能を有する消防の用に供する設備等に関する省令第1条第2項の規定に基づくパッケージ型消火設備の設置及び維持に関する技術上の基準の一部を改正する件等の公布について」（平成28年1月29日付け消防予第25号）により通知したところですが、改正後の「必要とされる防火安全性能を有する消防の用に供する設備等に関する省令第1条第2項の規定に基づくパッケージ型消火設備の設置及び維持に関する技術上の基準」（平成16年消防庁告示第12号。以下「12号告示」という。）及び改正後の「必要とされる防火安全性能を有する消防の用に供する設備等に関する省令第2条第2項の規定に基づくパッケージ型自動消火設備の設置及び維持に関する技術上の基準」（平成16年消防庁告示第13号。以下「13号告示」という。）の運用に当たっては、下記事項（省略）に御留意いただきますようお願いいたします。

各都道府県消防防災主管部長におかれましては、貴都道府県内の市町村（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）に対し、この旨周知していただきますようお願いいたします。

なお、本通知は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第37条の規定に基づく助言であることを申し添えます。

- 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/concern/law/tuchi2802/pdf/280223_yo48.pdf) に掲載されています。

【問い合わせ先】 予防課設備係
担当：伊藤、近藤、久保田

◆ **消防法施行規則の一部を改正する省令及び火災通報装置の基準の一部を改正する件の公布について（2月24日、消防予第49号）**

予防課長より、各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに次のとおり通知されましたのでお知らせします。

消防法施行規則の一部を改正する省令（平成28年総務省令第10号。以下「改正省令」という。）及び火災通報装置の基準の一部を改正する件（平成28年消防庁告示第6号。以下「改正告示」という。）が本日公布されました。

今回の改正は、近年、IP電話回線（インターネットプロトコルを用いて音声伝送を行う電話回線をいう。以下同じ。）が普及していることに鑑み、IP電話回線を使用する場合等の火災通報装置に係る技術上の基準等を定めるものです。

貴職におかれましては、下記事項（省略）に留意の上、その運用に十分配慮されるとともに、各都道府県にあつては、貴都道府県内の市町村（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）に対しても、この旨周知されるようお願いします。

○ 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/concern/law/tuchi2802/pdf/280224_yo49.pdf) に掲載されています。

【問い合わせ先】 予防課
担当：池町、西村、境

◆ **配管の摩擦損失計算の基準の一部を改正する件等の公布について（2月26日、消防予第51号）**

予防課長より、各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに次のとおり通知されましたのでお知らせします。

配管の摩擦損失計算の基準の一部を改正する件（平成28年消防庁告示第7号。以下「7号告示」という。）、消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式の一部を改正する件（平成28年消防庁告示第8号。以下「8号告示」という。）、不活性ガス消火設備等の容器弁、安全装置及び破壊板の基準の一部を改正する件（平成28年消防庁告示第9号。以下「9号告示」という。）及び消防用設備等試験結果報告書の様式の一部を改正する件（平成28年消防庁告示第10号。以下「10号告示」という。）が本日公布されました。

今回の改正は、配管の摩擦損失計算の算式等について見直しを行うほか、ハロゲン化物消火設備及び粉末消火設備に係る点検の基準及び点検票の様式並びに消防用設備等試験結果報告書の様式等について所要の規定の整備を行うものです。

貴職におかれましては、下記事項（省略）に留意の上、その運用に十分配慮されるとともに、各都道府県にあつては、貴都道府県内の市町村（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）に対しても、この旨周知されるようお願いします。

○ 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/concern/law/tuchi2802/pdf/280226_yo51.pdf) に掲載されています。

【問い合わせ先】 予防課
担当：池町、近藤、吉田、久保田、境

報道発表

◆ 「人口減少社会における持続可能な消防体制のあり方に関する検討会報告書」の公表（2月24日、消防庁）

「人口減少社会における持続可能な消防体制のあり方に関する検討会」（座長 吉井博明東京経済大学名誉教授）は、別添（省略）のとおり報告書をまとめましたので公表します。（以下省略）

○ 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h28/02/280224_houdou_3.pdf) に掲載されています。

【問い合わせ先】 消防・救急課
担当：田中課長補佐、山下事務官

◆ 平成27年度消防功労者消防庁長官表彰（2月25日、消防庁）

消防記念日（3月7日）にちなみ、3月9日（水）に「平成27年度消防功労者消防庁長官表彰式」を行います。本表彰式において表彰する受章者は次のとおりです。なお、詳細は別添（省略）のとおりです。（以下省略）

○ 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h28/02/280225_houdou_1.pdf) に掲載されています。

【問い合わせ先】 総務課
担当：篠宮政策評価広報官・野村係長

◆ 平成28年春季全国火災予防運動の実施（2月26日、消防庁）

平成28年3月1日（火）から3月7日（月）まで『平成28年春季全国火災予防運動』が実施されます。（以下省略）

○ 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h28/02/280226_houdou_1.pdf) に掲載されています。

【問い合わせ先】 予防課
担当：小富士・齋藤

◆ 消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式の一部を改正する件（案）等に対する意見募集の結果及び改正告示の公布（2月26日、消防庁）

消防庁では、「消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式の一部を改正する件（案）〈告示〉」等の内容について平成27年12月29日から平成28年2月1日までの間、国民の皆様から広く意見を募集したところ、本件に対する御意見はありませんでした。この結果を踏まえて、本日、「消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式の一部を改正する件」等を公布しましたのでお知らせします。（以下省略）

○ 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h28/02/280226_houdou_2.pdf) に掲載されています。

【問い合わせ先】 予防課
担当：五月女補佐、境

◆ **配管の摩擦損失計算の基準の一部を改正する件（案）に対する意見募集の結果及び改正告示の公布（2月26日、消防庁）**

消防庁では、「配管の摩擦損失計算の基準の一部を改正する件（案）＜告示＞」の内容について平成27年12月29日から平成28年2月1日までの間、国民の皆様から広く意見を募集したところ、本件に対する御意見はありませんでした。この結果を踏まえて、本日、「配管の摩擦損失計算の基準の一部を改正する件」を公布しましたのでお知らせします。（以下省略）

○ 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h28/02/280226_houdou_3.pdf) に掲載されています。

【問い合わせ先】 予防課
担当：五月女補佐、境

情報提供

◆ **春の火災予防ミニコンサートの開催（2月25日、消防庁）**

春季全国火災予防運動（3月1日(火)～7日(月)）の実施に合わせ、火災予防に対する理解と啓発を図ることを目的として、下記のとおり、東京消防庁音楽隊によるミニコンサートを開催します。

1 日時

平成28年3月2日(水) 12:10～12:40

2 場所

中央合同庁舎2号館(総務省)1階 アトリウム
(千代田区霞が関2-1-2)

3 演奏曲目（6曲）

- (1) ナショナル・エンブレム（バークレー：作曲）
- (2) ドレミの歌（ロジャース：作曲）
- (3) 花（滝 廉太郎：作曲）
- (4) サンダーバード（グレイ：作曲）
- (5) 世界に一つだけの花（槇原 敬之：作曲）
- (6) 松田聖子ラブリーコレクション(6曲メドレー)

4 取材場所

裏面（省略）のとおり（報道関係者は係員の指示に従って下さい。）（以下省略）

○ 全文は、消防庁ホームページ (<http://www.fdma.go.jp/info/2016/20160225-1.pdf>) に掲載されています。

【問い合わせ先】 総務課広報係
担当：篠宮広報官、落合係長、佐々木事務官

※ 消防庁各課室の直通電話番号は (<http://www.fdma.go.jp/neuter/about/tel.html>) に掲載されています。

週間情報では、各本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せ下さい。

週間情報への投稿は企画課へ！

TEL 03-3234-1321 FAX 03-3234-1847 E-mail : weekly@fcaj.gr.jp